

<sup>しもべ</sup>  
**僕（奴隷）**

2024年7月7日

**Messenger 由利輝子 Director**

**Worship Leader Akiho**

<sup>しもべ</sup>  
**「僕」というのは、身分が低い「奴隷」のこと**

神に感謝します。あなたがたは、かつては罪の奴隷でしたが、  
伝えられた教えの規範に心から服従し、  
罪から解放されて、義の奴隷となりました。

ローマ人への手紙 6章 17～18

キリストは神の御姿である方なのに、  
神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、  
仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。  
人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、  
死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。

ピリピ人への手紙 2章 6節～8節 新改3版

**「ご自分を無にして」というのは**



**「私たちの身代わりとなって、罪を担われた」ということ**

人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、  
また多くの人のための贖いの代価として、  
自分のいのちを与えるために来たのと、同じようにしなさい。

マタイの福音書 20 章 28 節

私たちの中でだれ一人、自分のために生きている人はなく、  
自分のために死ぬ人もいないからです。

私たちは、生きるとすれば主のために生き、  
死ぬとすれば主のために死にます。

ですから、生きるにしても、死ぬにしても、  
私たちは主のものです。

ローマ人への手紙 14 章 7～8 節

## **考えてみましょう**

1. イエス・キリストに出会う前、あなたは何の奴隷でしたか？
2. 罪の奴隷から義の奴隷とされたことに感謝し、真の主のしもべとして、十字架の愛の負債をお返しできますように、共に祈りましょう。